

ソーラーカープロジェクト

金沢工業大学夢考房ソーラーカープロジェクト



KIT Solar Car Project

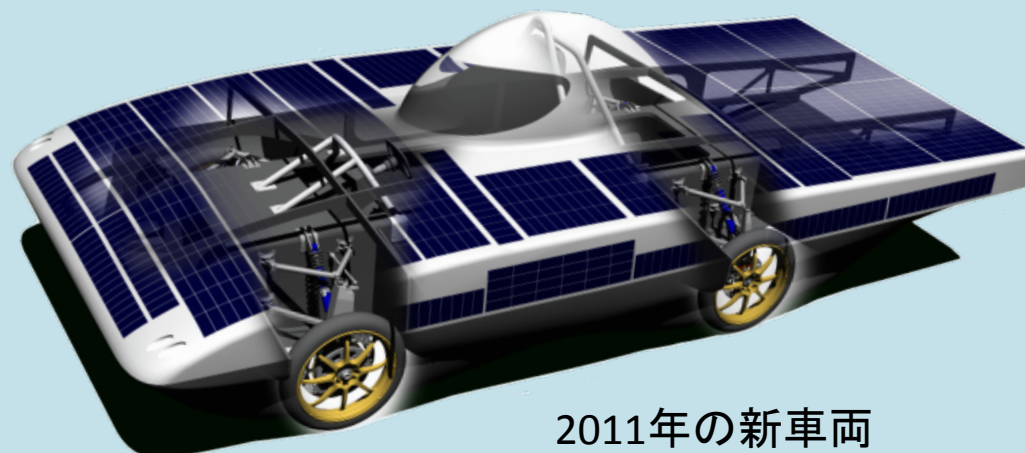
金沢工業大学夢考房 ソーラーカープロジェクト

ソーラーカーについて



1991年からの歴代のソーラーカー

車体
軽量高剛性なフレームや、極限まで空気抵抗を低減したボディなどを設計・自作しています。ボディには太陽電池の貼付け面積を確保するなど、ソーラーカー特有の技術も盛り込んでいます。



2011年の新車両

安全性
ソーラーカーの安全を確保するために、乗員を守るロールバーの搭載、車両安定性の高い4輪車の採用などを他に先駆けて行ってきました。

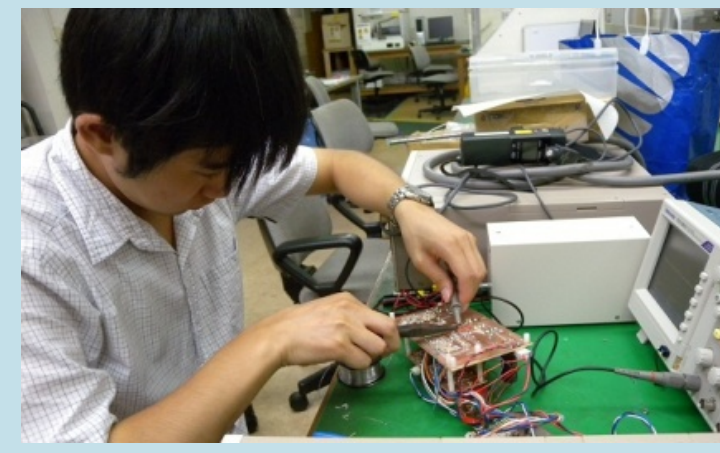
電気
車体同様にモーターや太陽電池の制御回路などを自作し、市販品を上回る性能を目指しています。電気回路の1%の効率改善がレースの勝敗を分けることもあります。

ソーラーカーレース
鈴鹿サーキットで行われるレースでの上位入賞を目指しています。ルールにより太陽電池の面積とバッテリーの重量が制限されており、通常の自動車レースとは違い電力の管理が重視されます。

省エネ
車両技術

プロジェクトについて

学生主体
1991年の設立以来固定の顧問は存在しません。計画の立案から実行、技術の考案・開発、設計製作までを、学生が主体となって自主的に遂行しています。



グループ活動
ソーラーカーを作るために集まったメンバーは学科、学年など多岐にわたります。リーダーはメンバーをまとめ、スケジュールを管理し、メンバーは責任感をもって役割を果たしています。

人材育成
本プロジェクトは金沢工業大学の課外活動組織であり、大学で学んだ知識を実践できる場です。卒業したメンバーは様々な分野で活躍しています。

チーム
運営技術

技術継承
本プロジェクトは金沢工業大学の学生組織であるため、毎年卒業するメンバーが抜ける入れ替わりが激しい組織です。コンセプトや技術、経験は、可能な限り資料を文章として残し継承しています。

ソーラーカーの実用化
社会基盤への
応用

審査委員コメント

ソーラーカー開発自身は多くの学校で行われているものであるが、プロジェクト実施にあたり、学生自らがプランニングし、資金を集めていること、また代々、ノウハウを伝えて高めている点は次世代を担う学生による取り組みとして高く評価できる。